

## 経営理念

- 意欲と生き甲斐のある人生のサポート
- 明るく、温かく、潤いのある「家」
- 介護の専門性の確立
- 規律ある礼儀正しい職員の育成
- 介護報酬の社会への還元

## 令和3年度の目標

- ① 入居者の安心安全な暮らしの確保
- ② 働き方改革意識の浸透
- ③ 理念に基づく職員教育と育成
- ④ 防災意識の浸透と体制整備
- ⑤ 次世代に向けた体制作り

### 1. 実施事業

①介護老人福祉施設	入居定数 50名
②短期入所生活介護 介護予防短期入居生活介護	専用ベッド 6床
③サテライト型ユニット型地域密着型介護老人福祉施設	入居定数 20名
④サテライト型ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 短期入所生活介護 介護予防短期入居生活介護	空所型

### 2. 令和3年度事業の総括

コロナ禍2年目を迎えた令和3年度は引き続いての外出、面会制限の中、タブレット面会やラインの活用等で新しい形での暮らしぶりの発信を行い、ご家族との繋がりを失うことなく信頼関係を保つことができた。特に看取り介護においては、ご本人、ご家族が納得出来る最期を送って頂ける様看取り介護への想いをしっかり受け止めた上で実施をしてきた。又、行事等においても感染症対策を十分にした上で職員の知恵を出し合い、2年度より更に工夫を重ねて計画、実施し利用者の暮らしに潤いを与える事が出来た。

豪雨災害が身近に発生し緊張感を持った対応が強いられ、日頃の訓練により利用者の安全性の確保に向けた職員の意識も高まってきた。定期的な訓練も地域消防団や住民との連携を図り、体制作りを視野に今後の「業務継続計画」の内容も含め継続検討課題として取り組んでいる。

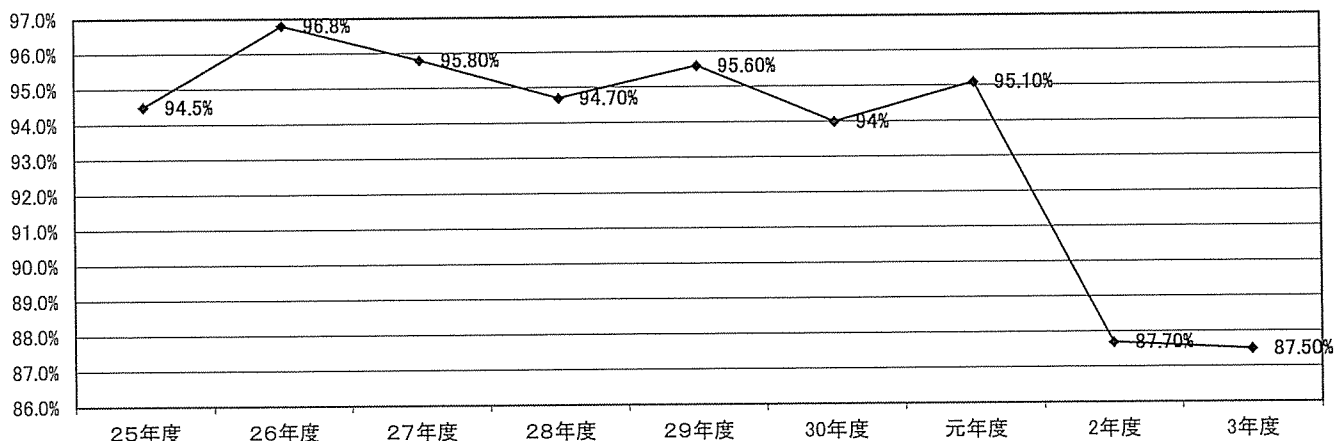
働き方改革において、人材確保は非常に厳しく現在者での工夫が最大の解決策として、勤務内容の見直し、世代間の融合、ICTの活用等で徐々に新しい形の働き方に向け鋭意努力している。

### 3. サービス利用実績

#### ●概況

令和3年度は2年度と同様利用率が87%台と常に空床がある状況で推移してきた。待機者は常時80名程度あるものの、人材不足により満床に出来ない状況が続いた。利用者の状態も多様性に富み、それに柔軟に対応出来る職員の資質がさらに求められてきた。又、ショートステイにおいても6床中3床しか稼働出来ず、令和元年度以降の稼働率は過去最低となった。

表—1 入居在籍率の変遷



表—2 令和3年度施設入居(定数 本館50新館20)利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
本館在籍者	41	42	45	46	44	44	44	44	46	44	46	45	531	
新館在籍者	19	19	20	20	20	21	20	20	20	20	20	20	239	
総在籍者数	60	61	65	66	64	65	64	64	66	64	66	65	770	
総日数	2,100	2,170	2,100	2,170	2,170	2,100	2,170	2,100	2,170	2,170	1,960	2,170	25,550	
在籍日数	1,761	1,850	1,819	1,910	1,845	1,757	1,898	1,872	1,929	2,011	1,764	1,933	22,349	
在籍率	83.9%	85.3%	86.6%	88.0%	85.0%	83.7%	87.5%	89.1%	88.9%	92.7%	90.0%	89.1%	87.5%	
不在総日数	339	320	281	260	325	343	272	228	241	159	196	237	3,201	
内訳	入延人数	0	1	1	1	1	4	3	2	3	0	2	3	21
	院延日数	0	12	7	20	18	65	39	32	35	0	28	33	289
	外延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泊延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未入所	339	308	274	240	307	278	233	196	206	159	168	204	2,912
入退所	入所	1	2	4	1	1	4	0	1	3	0	2	2	21
	退所	1	0	0	3	3	1	1	1	2	0	3	1	16
	退所理由	死亡1			死亡2 入院1	死亡2 入院1	入院1	入院1	死亡1	死亡2		死亡4 入院1	死亡1	死亡11 入院5

表—3 令和3年度短期入所生活介護利用実績

(専用ベッド6床、入院等の空床も使用)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	9	10	9	9	7	7	6	7	6	6	6	6	88 (108)
利用日数	61	57	50	66	54	47	45	48	52	35	44	42	601 (913)

※( )内は令和2年度実績

表—4 令和3年度介護予防短期入所生活介護利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	1	1	1	1	1	1	4	2	2	2	1	1	18 (12)
利用日数	9	11	11	10	9	11	22	18	18	20	12	12	163 (120)

※( )内は令和2年度実績

短期入所利用延べ日数÷(365日×専用ベッド数)＝短期入所利用率

(601日+163日)÷(365日×6)＝34.9% (※2年度47.2%)

## 4. 入居者の状況

表—5 市町村別利用状況(令和4年3月31日現在)

	奥出雲町		雲南市					その他	計
	仁多	横田	吉田	木次	大東	三刀屋	加茂	その他	計
本館男	8	2	0	0	0	0	0	0	10
本館女	27	6	0	1	0	0	0	1	35
新館男	3	0	0	0	0	0	1	0	4
新館女	12	1	1	0	1	0	0	0	15
計	50	9	1	1	1	0	1	1	64

表—6 年齢別利用状況(令和4年3月31日現在)

	70以下	71～75	76～80	81～85	86～90	91～95	96～100	100以上	平均年齢	最高年齢
本館男	1	1	0	0	4	2	2	0	86.5	99
本館女	2	2	0	7	7	11	4	2	88.4	101
新館男	1	0	0	1	0	2	1	0	86.6	94
新館女	0	0	0	2	2	4	5	1	92.8	102
計	4	3	0	10	13	19	12	3	88.6	

表—7 要介護度別利用状況（令和4年3月31日現在）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
本館男	0	0	2	6	2	10	4.1
本館女	0	1	7	16	11	35	4.1
新館男	0	0	2	2	1	5	3.8
新館女	0	0	6	4	4	14	3.9
計	0	1	17	28	18	64	4.0

## 5. 各部部門別実績

### ○介護部門

既存型特養（本館）2グループケア、地域密着型特養（新館）の2ユニットケアに取り組んだ。2年目を迎えることとなったコロナ対策は、今年度も引き続き「新型コロナウイルスを施設に持ち込まない」対応を強化していった。

職員だけでなく入居者様にもマスクの着用をお願いし、スペースのテーブルにはアクリル板を設置しテーブル等の除菌にも気を配った。面会については制限をすることになり入居者様のお気持ちには今年度も配慮が欠かせなかった。

職員体制に関しては、十分に整うことを目標にせず、今ある職員のみで何ができ、何をしないか。現在進行形で今も頭を悩ますところではあるが、一つ一つの業務を見つめ、そして改善して行くことが近道であると実感している。この実践に関してはお互いのコミュニケーションが欠かせず心を通わすまでには時間を要することではあると考える。ウィズコロナをベースに「楽しむこと」をあえて意識し、日々の生活を入居者様と一緒に暮らした1年であった。

#### ①身体介護

##### （1）食事ケア

- ・個々の状況に合わせた栄養ケアマネジメントの実施  
今年度は管理栄養士に加えベテランのパート管理栄養士の助言や協働が得られた

##### （2）入浴ケア

- ・入浴を流れ作業にしない、個別対応の実施
- ・ストレッチャー浴、個浴など個々の状況に対応した入浴の実施
- ・ケアサポーターによる本館浴室の毎日のこまめな掃除を行った

##### （3）排泄ケア

- ・ユニチャームとの連携による不快にならない排泄ケアの実施
- ・介助者ごとにばらつきのない均一化された排泄ケア技術の拡充
- ・現在の排泄ケア技術の維持のための研修会

## ②生活支援

### (1) ユニットケアの継続と発展

- ・個々の希望や望みの延長 手作りお茶口で生活感のアップ
- ・実際の家庭にいるようなユニット内の装飾（生花を毎日飾るなど）

### (2) 行事「利用者、家族、地域」を意識した行事の展開

- ・入居者様・職員で楽しめる行事の開催
- ・地域の園児による「神輿イベント」の開催
- ・間接的ではあるが「身近に感じられる」行事の配慮（画像でのやり取り）

※年間、月間、週間行計画表・・・別表1参照

### (3) 趣味活動「個々の生活歴に合わせた活動の展開」

- ・はつらつクラブの実施
- ・季節の食材を用いたお茶口の提供

### (4) 終末ケア 「看取る事」について

- ・「看取り」に関する活動内容を玄関前に掲示
- ・家族との連携、意思確認の徹底
- ・グリーンケア 49日・1周忌に合わせはがきの送付

## ③食 事「旬の食材で、家庭的に、楽しく」

### \*献 立

- ・季節感が味わえるように、出来るだけ旬の食材を使用する

### \*行 事 食

- ・季節、慣習に合わせた献立
- ・おじやの日2回/月・パンの日2回/月設定 楽しみの持てる朝食

※行事食・特別食実績一覧表参照

### \*食事環境

- ・少人数の各ユニットで、ゆったりとした食事の提供
- ・気分に合わせて食事場所の検討

## ○行事食・特別食実績一覧表

4月	お花見弁当（あなごちらし）	10月	本館開設記念（赤飯・空也蒸し）
5月	新館開設記念会食（てんぷら・赤飯）		世代間交流（栗ご飯・さけの塩焼き・フルーツカクテル）
7月	納涼祭（天婦羅・ちらし寿司・水羊羹） 七夕の日（エビ入りそうめん）		
8月	お盆料理（赤飯・茄子の煮物）	12月	クリスマス（チキンライス・コーンスープ） 年越し（炊き込みご飯・そば）
9月	敬老の日（赤飯・てんぷら・紅白なます）	1月	おせち料理、七草粥、祝い膳（刺身・天ぷら）
		2月	節分（海苔巻き・イワシ甘露煮）
		3月	ひな祭り御膳（ちらし寿司 天婦羅）

## ④音楽療法

- ・月3回音楽療法士による指導（わかくさ、やまなみ 新館）  
（令和3年 4～5月は開催 6月以降は中止）

## ○看護部門

### ① 治療

- ・的確な投薬管理を行い、投薬ミスが起こらない体制作り
- ・苦痛の少ない終末ケアの実践
- ・腸内の音を聞くなど 薬品のみには頼らない排便調整の研究と実践

### ② 予防

- ・感染症に対する知識、技術の修得、研修会の実施
- ・利用者胸部レントゲン撮影（6月）、職員健康診断（9月、3月）
- ・利用者・職員インフルエンザワクチン接種（11月）
- ・各種マニュアルの再点検、周知・・・職員会において実施

### ③ 面会に関して

- ・面会制限緩和（直接面会）令和3年4月1日～4月27日
- ・面会制限の実施 令和3年4月28日～6月30日
- ・面会制限の緩和（制限付き直接面会）令和3年7月1日～8月7日
- ・面会制限の実施（直接面会の制限）令和3年8月8日～8月22日
- ・面会制限の実施（全面的な制限）令和3年8月23日～10月中旬
- ・面会制限の緩和（制限付き直接面会）令和3年10月中旬～12月29日
- ・面会制限の実施（全面的な制限）令和3年12月30日～現在
- ・看取り時の面会においては緩和的対応

### ④ コロナワクチンの実施

- ・ワクチン1回目実施日（4月19日 20日 23日）
- ・ワクチン2回目実施日（5月10日 11日 14日）
- ・ワクチン3回目実施日（1月28日 2月1日 8日）
- ・ワクチン未実施者等実施日（8月20日・9月10日・2月22日）

### ② 安全衛生管理

- ・産業医との連携
- ・ストレスチェックの実施
- ・体調不良者のフォロー  
（長期休業者、腰痛による療養、けがによる療養等）

## ○総務部門

### ①人 事

#### ●採用

正規ケアワーカー	1名	令和3年4月1日付
嘱託管理栄養士	1名	令和3年4月1日付
パート管理栄養士	1名	令和3年6月1日付
パート看護師	3名	令和3年7月1日付・10月1日付・11月1日付
パート当直員	1名	令和3年10月1日付
臨時ケアサポーター	2名	令和3年12月1日付・令和4年2月1日付
正規機能訓練指導員	1名	令和4年1月1日付

## ●退職

嘱託管理栄養士	1名	令和3年4月30日付
正規看護師	1名	令和3年7月21日付
正規ケアワーカー	1名	令和3年7月31日付
当直員	1名	令和3年7月31日付
パートケアサポーター	1名	令和3年11月30日付
パート看護師	1名	令和4年3月31日付
嘱託管理栄養士	1名	令和4年3月31日付

## ②職員教育

- ・ 新任者への指導の実施 夜勤研修等

## ③ケア支援

- ・ サービス担当者会を軸にケアカンファレンス、個別機能訓練計画会議、
  - \* 栄養ケアマネジメント会議を開催し個別ケアにつなげる
- ・ 令和4年1月からは新館・本館に機能訓練指導員配置し細かな
  - \* 個別機能訓練の実施
- ・ 個別機能訓練の基本方針
  - \* 生活の中での機能訓練
  - \* 残存能力の維持改善
- ・ 理学療法
  - \* 機能訓練指導員を中心とした個別機能訓練体制の充実
  - \* 褥瘡・拘縮予防の研究（マットレス・スライドボード）
  - \* フレイル予防への協力
- ・ 作業療法
  - \* 生活に即した作業の実施
- ・ LIFEの運用に関する勉強会等の実施

## ④リスクマネジメント

- ・ 介護事故予防に関する研修の開催
- ・ 「安全対策部門」の設置 安全対策担当者の設置
- ・ 事故後の事故検証の実施

## ⑤苦情対応

- ・ 困りごと受付・・・別表2参照

## ⑥身体拘束廃止・虐待防止

- ・ 身体拘束に関する研修会及び高齢者虐待防止研修会の開催
- ・ 職場内のヒヤリング

## ⑦防災管理

- ・ 備蓄品の確保
- ・ 土砂災害計画からの訓練実施
- ・ 防災訓練の実施や地域住民等との連携
  - \* 防災・土砂災害訓練実績・・・別表3参照

⑧広 報

- ・納涼祭（令和3年7月17日）
- ・世代間交流イベントの開催（令和3年10月7日）
- ・家族通信「愛燦」の発行（毎月）
- ・LINE アプリを使用し家族様へ入居者様 写真を送信  
家族様との細かなやり取りを行った

⑨地域交流、研修・ボランティア受入 別表4参照

⑩職員研修 別表5参照

⑪福利厚生

- ・健康診断の実施 年2回（9月・3月）
- ・ウェルカム弁当（令和3年6月21・23日・25日）
- ・職員旅行代替え 商品券（10月）
- ・レクレーション代替え お菓子（12月）
- ・宴会代替え グルメカタログ（年度末 3月）

⑫運営会議・業務全般

- ・介護の提供量と入居の調整
- ・仁多福祉会理事長との対話の機会を得る
- ・ショートステイ3床稼働

別表1 行事、レクリエーション、趣味活動

① 年間行事・レクリエーション

月	日	行事名	内 容
4月	5日	花見（施設内）	施設内にて花見弁当
	15日	不在者投票	ホールにて投票設置場所を設ける
5月	1日	新館開設9周年	記念メニュー
	1日	新緑ドライブ	天気よく花や新緑を見に車で出かける。
6月	22日	ふれあい運動会	風船バレー大会を企画。体を動かしフレイル予防の機会を図る
7月	17日	神輿行列 納涼喫茶	阿井幼児園の子供たちの担ぐ神輿行列を、入居者様に見てもらおう。神輿行列は施設中庭をめぐる形とした。深田一座演芸披露
8月	6日	七夕祭り	七夕飾り・昼食会・お茶会
	16日	盆法要	施設利用者逝去者へ住職による法要
9月	20日	敬老祝賀会	長寿お祝い（記念品贈呈）お祝い弁当
	26日	彼岸法要	施設利用者逝去者へ住職による法要
10月	1日	本館開設記念日	本館開設記念（20周年）昼食会
	7日	世代間交流	阿井幼児園の運動会の様子等DVDの映像をホールで鑑賞 その後アンサーDVDを作成し幼児園へ届ける
	28	不在者投票	ホールにて投票設置場所を設ける



12月	16日	白寿祝い	町より白寿を迎えられる方へのお祝い（受け取りのみ）
	24日	クリスマス会	各ユニットにてクリスマス会 開催
	26日	年末・年始準備	各居室にしめ縄飾り 玄関に新年用飾りつけ
	30日	餅つきイベント	鏡餅を2ヶ作り飾る
	31日	年越し	大晦日 入居者様年越しそばで年越しをする
1月	1～3日	正月行事	おとそ振舞（1日）、お節料理（3日間）
	8～9日	新年会・長寿祝	お祝いの方は別室にて祝い者家族様と記念撮影 入居者新年会メニューのお食事（9日）
2月	3日	節分祭	豆まき、節分メニュー
3月	3日	ひな祭り	ひな飾り、雛祭りメニュー
	18日	彼岸法要	住職による法要

## ② 月間行事

音楽療法	月3回 (6月以降中止)	音楽療法士 武田千代美先生による指導
理容	月2回	ヘアーサロン深田
移動理美容車	隔月	ハッピー号
訪問販売（食品）	月2回	阿井食品センター（販売場所の変更）
訪問販売（衣類）	適宜	山本呉服店（別室にて）

## ② 趣味活動

はつらつくらぶ・・・郷土料理・家庭料理など計画的に計画実施  
 季節の野菜、山菜等を採集して調理  
 今年度は講師先生の来苑中止

月	日	行事名	内 容
6月	24日	笹巻作り	入居者、職員一緒に笹そろえから始め、沢山の笹巻ができる
2月	3日	ぜんざい作り	小豆の選別を入居者様の手作業でより分けてもらった
	16日	こうたけご飯	地域の方からいただいた香茸を入居者様に提供

## 別表2 苦情受付 困りごと

苦情受付日	苦情者	内 容	対 処
令和3年 5月11日	利用者家族	あいサンホームにて けがをし、入院に至 ったが退院すること となり病院から高額 な請求があった。保 険をかけていると聞 いたが説明がない。 また入院期間中にそ	施設長から家族様へ謝罪の電話を入れる。連絡をしていなかったことについての謝罪と保険に関しての説明をする。一旦は入院費用をお支払いいただきその後に保険料が振り込まれる説明をして了解される。

		の後どうかなどの電話もなかった。誠意を感じられない。	
令和3年 4月26日 9月1日 10月11日 11月30日	入居者と想定 (同じような筆跡、言い回しの文章)	声の箱に投書あり。内容は職員がみな同じように扱ってくれない差別しているという、同様な内容	苦情第三者委員会議にて内容を共有。その発言をされる方の心情理解が解決の糸口となることを助言いただく。この意見を受けて10月5日開催の運営会議にて報告、職員同士の会話が誤解を生みやすい事を主な原因として、声の大きさ・話す場所の設定・ケア中の声のかけ方、タイミングなど注意喚起を行った。
令和3年 9月4日	利用者家族	ショートステイの迎えの時間を遅くならないようにしてほしい。	通常(9時から10時の間)の時間での迎えであったが、他の事業所のように約束をした時間に迎えにあがれないことを再度お伝えする。家族心理を理解し対応する。
令和3年 9月15日	利用者家族	ショートステイの迎えの時間がルーズである。 ショートステイ利用中もほっとかかっている感じを受ける。 他のショートステイ利用の家族との会話でも、施設に対して不信感が増した。	直接話を聞いた施設職員は、「そうだったんですね」と受け止めた。 迎えの時間に関しては通常通りの対応ではあるが他の事業所と比べるとどう説明してもルーズに思われると考える。それを説明したり謝罪をするより、不信に思われている1つ1つを少しでも改善する中で関係回復につながると信じ、実践したい。
令和3年 9月30日	入居者家族	入居に関して、周りの親戚がすでに入居が決まったことを知っており、施設職員から聞いたとのことであった。個人情報 をきちんと管理してほしい。	入居当日、ご家族からの話で発覚した。即日施設長へ報告。情報管理に関して周知・改善を速やかにするよう指示を受ける。周知に関しては当日9月30日の主任副主任の集まる会議の場で行い、再度運営会議、職員会で報告し、職員会では「個人情報保護法」「守秘義務」についての理解をし、施設長より注意喚起を行った。

### 別表3 防災訓練実績

#### ① 総合防災訓練 (年2回)

実施日	内 容	協力依頼所
6月18日	土砂災害想定避難訓練	防災対策委員会
3月12日	火災想定避難訓練	阿井消防団・阿井の小さな拠点づくりメンバー・地域住民

#### ③ 通報訓練

実施日	想定内容	通報担当者
9月10日	本館 夜間の想定	伊帳田・田部裕・伊藤・大谷
1月9日	本館 夜間の想定	青戸・板垣・山本道

## 別表4 地域交流、研修受入、ボランティア受入、見学受入

### ①地域交流

実施日	内 容
7月11日	上阿井広場草刈り参加（2名）

### ②研修・実習受入

実施日	団 体 名
10月5～7日	仁多中学校職場体験学習（1名）

### ③ボランティア受入

実施日	団 体 名	内 容
7月2日	職員有志	施設周り 草刈り奉仕作業
6月27日	阿井地区民生・福祉委員	窓拭き、蜘蛛の巣取り
11月28日	阿井地区民生・福祉委員	窓拭き、蜘蛛の巣取り

### ④見学受入

実施日	団 体 名
	なし

## 別表5 職員研修

### ①施設外研修

実施日	研 修 名	会 場	参加数
4月9日	新任職員 理事長研修	仁多	6名
4月10日	ケアマネ更新研修 eラーニング	施設内	1名
6月1日	排泄研修 オンライン	施設内	3名
6月2日	安全対策 担当者研修 オンライン	施設内	1名
7月6日	おくいずもんの話を聞こう（講師参加）	仁多	1名
7月13日	排泄研修 オンライン	施設内	3名
9月15日	眠りスキャン リモート研修	施設内	10名
9月22日	認知症基礎研修	松江	1名
9月29～30日	ケアマネ更新研修	松江	2名
10月24～25日	ケアマネ更新研修	松江	2名
11月14日	摂食嚥下法研修	雲南	1名
12月22日	記録ソフト伝達研修	施設内	1名
2月8日	抗原定性検査キット WEB研修	施設内	5名
2月16日	在宅酸素装置 使用研修	施設内	15名
2月22日	排泄研修 オンライン	施設内	2名
3月5日	社会福祉施設会計基礎研修 WEB	施設内	1名

②施設内研修

実施日	研修名	講師	内容	参加者
4月15日	コロナワクチン接種研修	看護師	コロナワクチン接種のシミュレーション	担当者
4月28日	防災備品(食事)について	管理栄養士	災害用おかずの試食	担当者
5月6日	介護技術研修	介護事故防止委員 機能訓練指導員	介護用リフトの研修	全職員
6月16日	完全側臥位法の研修	看護師看 機能訓練指導員	完全側臥位法の理解と 食事介助方法	ケアワーカー
6月25日	食中毒に関して	感染対策委員 管理栄養士	食中毒の理解と予防	全職員
7月23日	接遇マナーについて	接遇マナー委員会	マナーに関する事	全職員
	看取りについて	看取り委員会	看取りについて	全職員
8月25日	介護事故に関して	介護事故防止委員会	介護事故の対策について	全職員
10月25日	コロナ禍における救命法	感染対策委員会	感染に配慮した救命の仕方	全職員
12月23日	高齢者虐待防止・ 身体拘束防止委員会	高齢者虐待防止・身体拘束 防止委員会	虐待の定義に関して (1)	全職員
2月25日	高齢者虐待防止・ 身体拘束防止委員会	高齢者虐待防止・身体拘束 防止委員会	虐待の定義に関して (2)	全職員